

発行所
愛徳学園同窓会
神戸・垂水

会長挨拶



会長
石井トクコ・アイリーニ
(七回生 旧姓ヤング)

毎年、会報の挨拶文を書くときは、のんびりと庭に目を向けながら、同窓生の皆様方を想いながら筆を運びます。寒冷な冬の静的で色のない世界から、温暖な春の動的で色鮮やかな世界へと一気に移行するこの時期、皆様方、お元気で過ごしてでしょうか。

この時期、『花』と聞くと桜：共通の季節感と節目を大切にしている日本人ならではの想いですね。四季のある日本では、その時々を花を五感で楽しむだけではなく、そこに時の流れを感じ、想いを馳せる繊細な感覚を、誰もが持ち合わせているように思います。桜ばかりでなく、沈丁花、小手毬、花水木、辛夷、蒲公英…身近な花に目を向け、それを取り入れ、慈しみ、はぐく

むことで、豊かな心を神から与えられ、感謝の日々です。

さて、今年は四十五名の新しい同窓生を迎え、総勢三五九三名の、大所帯の同窓会となりました。役員の方々は、毎年、毎年、知恵を寄せ集め、よりスムーズな同窓会活動を目指し、奮闘していただいております。また、各回生の幹事の皆様方にも、学園に足を運んで頂き、共通の認識を深めていただいております。今年度は総会において、同窓会名簿を外務業者に委託する件及び昨年の学園の耐震工事への寄付金の件を、承認いただきました。事後承諾となりましたこと、大変申し訳なく思っております。三五〇〇名を超える同窓会の名簿管理は、仕事をもち役員のみでは不可能となり、このような形をとらせていただきましたこと、ご報告させていただきます。なお、個人情報管理には細心の注意を払っております。どうぞご理解くださいませ。

昨年同様、同窓会の活動と致しましては、総会後の会報の発行及び発送、新幹事による学園運動会でのジュース販売、バザーでの物品販売を予定しております。今年もた

くさんのバザーへの手作り作品をお待ちしております。バザー当日は、同窓会室に飲み物・お菓子・軽食を準備いたしておりますので、是非お喋りに立ち寄り、アイデアや忌憚のないご意見をいただければと思います。役員一同心よりお待ちしております。

今年も、同窓生の皆様方に、顔の見える活動を通し、ますます輪を広げてまいりたいと考えております。同窓会の役割を真摯に受け止め、ひとつづつより良い方向に進めていければと願っております。本年度も惜しみないご支援、宜しくお願い致します。

私どもを取り巻く環境は、ますます危なかしい状況に満ち溢れ、心を痛めることが多い日々が続いております。学園で教えられた、心静かに、神の声に耳を傾ける穏やかな時間：本当に大切な教えだつたと、今、新たに感謝しております。

神の大きな導きの光が今年もまた私どもの心を照らし続けてくださることに感謝いたします。

Todo por Amor



させていただきますと考えております。本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

4年目を迎えた「Rainbow Program」では、今年度より、『愛徳グローバル教育』を推進して参ります。この『愛徳グローバル教育』はこれまでの皆様方が体験してこられた国際理解教育や英語、スペイン語などの語学教育を、『共に生きる』をテーマに再構築し、キリスト教的価値観をバックボーンに、本校独自のプログラムや学校設定科目「グローバルスタディズ」を創設し、「すべての人、中でも弱い立場にある人に寄り添い、『共に生きる』グローバル社会に貢献する人材を育成すること」を目指し、取り組んで参ります。

現在学園が進めております新しい取り組みは、学園を巣立ち、豊かな人生を歩んでいらっしゃる同窓会の皆様方が在学中に築いてこられた「学園の心」をよりどころにしています。どうか皆様のご理解と温かいお励ましを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

同窓会の皆様方とともに、学園で長い間お過ごしになってこられた小椋副校長、数学科の袖山先生、英語科の田淵先生が3月末にご退職になりました。小椋副校長は専任を退かれましたが、引き続き講師として宗教のご授業をお願いしています。

同窓生皆様お一人おひとりの上に神様の祝福が豊かに注がれますようお祈り申し上げますと共に皆様、「ただいま！」と言ってお帰りになるのを心からお待ちしています。

新緑の季節が巡ってきました。同窓会の皆様にはお元気でお過ごしでしょうか。

久しぶりに満開の桜を迎えられた入学式を終え、小学生162名、中学生119名、高校生137名、総勢418名で2017年度がスタートしました。

少子化と共学志向の中で生徒数の減少という現実と直面し、同窓生の皆様にはご心配をいただいているところがございます。しかし、そんな中であっても本校を選び、ご期待くださる保護者の方々と同窓会の皆様との熱い思いに支えられて、古き良



Sr.能美 啓子

き伝統を大切にしつつも、新しい時代に対して生徒と教職員が一つになり全力で『チャレンジ』しているところです。

学園小学部では昨年夏、校内無線LANを構築しiPadを使用する授業では子供たちの生き生きとした姿が見られます。

中高においては、協働学習ができる教室の増設をはじめ、各HR教室のフローリングの改修などより良い学習環境の下、日々の教育活動を行っているところがございます。

また、皆様方の思い出の詰まった第一校舎の耐震工事を終え、これで法人として幼稚園、小学校、中学校、高等学校のすべてにおいて完了することができました。同窓会の皆様からの温かいご寄付もいただき、この夏に各教室に設置予定のプロジェクターなど生徒が直接使用する設備に使用さ

五十三回生

新入会のご挨拶

この度同窓会員に入らせて頂きました、五十三回生四十五名です。

私達は賑やかで個性豊かですが、とても団結力の強い回生です。愛徳学園という温室を卒業し今までの環境に感謝すると同時に、未熟で分からないことも多い私達ですが精一杯頑張りますので宜しくお願いいたします。

私たちが五十一回生は一月九日に成人式を迎えました。

第51回生 新成人 おめでとうございます!



成人式後、ホテルモンテ神戸で同窓会を行いました。ホテルの入口には「愛徳学園五十一回生の集い」という文字が書かれており「帰ってきた」という心地よさがありました。

の会話は、愛徳学園の教室でおしゃべりをしていました。振り袖やドレス姿はとても華やかでしたが、愛徳学園の制服を着た同級生の姿が思い浮かびました。

五十一回生のみんなに出会えて良かったと心から感謝できる一日となりました。



退職に当たって



小椋 久光 先生

この春、無事に専任としての、三十八年間の教員生活を終えた。一九七五年、恩師の勧めで秋田県のミッシヨンスクールで働き始めたが、四年後、関西で一人暮らしをしていた父の健康が危ぶまれ、何とか近く職を得たいと、近畿一円のカトリック学校に履歴書を送った。男子校育ち故男子校で！と願ったが、声をかけていただいたのは『愛徳学園』のみであった。一九七九年一月十五日、採用試験で初めて訪れた学園では、理事長・Sr.マリア・ドロレスと、校長・Sr.堀井が迎えてくださった。出題されたのは二題の論述問題。そのうちの一つは、※「物分かりの良い教師」という表現があるが、あなたの考えを述べよ。」というものであった。頑固な父に育てられ、内心「物分かりの良い教師でありたい」と思っていた自分を抑えて、旧校舎の薄暗く冷え切った北窓接室で必死に答えた事を思い出す。異動されるSr.国広の代わりということ、私にとつては最も苦手な『日本史』の担当を命じられ、朝な夕な授業準備に追われ苦しんだことが忘れられない。とりわけカルチャーショックを受けたのは、秋田の学校が各種の教育機器を備えた先進校であったのに対して、愛徳は自然環境こそ恵まれているものの、教育機器と呼べるものはほとんど存在せず、生徒の椅子・机・教卓・黒板があるのみといった感じで、組織的な研究が行われている風

もなく、がっかりしたことをよく覚えている。ただ中・高時代を小規模なミッシヨンスクールで学んだ私には、学園の「小ささ」だけが魅力で、各行事等で、生徒一人ひとりが活き活きと活躍の場を得ていることにとても共感を覚えた。悩んだのはバスケット部の指導。当時の体操服は、スコートだったのが、部員はそのスコートを穿いて公式戦にも出ると言う。開いた口が塞がらず、バスケットパンツを穿かせるために十六・十七回生と格闘した事が忘れられない。当然の如く、高三生を夏の大会まで参加させようとして、担任のSr.三好から、勉強させなかならないのに何考えてるの！としくしく反対され頭にも来た。私にとつてとりわけ魅力的だったのは、荘田先生のご指導で実施される毎週木曜日朝の「歌唱指導」。練習を重ねて『学芸発表会』で全校合唱を披露する生徒を見るのは誇らしかった。



山里では、ぼたんの花のつぼみが膨らみ、後一週間もすればきれいな花が咲き始めようとしています。卒業生の皆様いかがお過ごしでしょうか。きっとそれぞれの場で精一杯頑張っていることと

思います。私は、この三月三十一日をもって愛徳学園を退職いたしました。名前を見て、懐かしく読んで読んでくださった方があれば幸いです。

二十二歳(一九七九年四月)で小学校に採用されてから二十五年、中高に勤務させていた十三歳、合わせて三十八年もの間お世話になっていました。今は、無事勤めさせていたことに感謝の気持ちでいっぱいです。本当に長い間ありがとうございました。採用試験の当日、シスターを初めて見たときの驚きは、今も忘れていません。それまで、映画やテレビでしか見たことがなかったのですから。そんな私を周囲の人達は、しっかりと指導してくださいました。しかし、生来で悪い私は、教えていただいた通りにはなかなかできません。近年、『新しい教育』を目指し、レインボープログラムの名のもとに試行錯誤している学園である。若い先生たちには、古き良き伝統を大切にしながら、勇気をもって時代にチャレンジしてほしい。私学の危機が叫ばれて久しいが、小規模でも、ピリッと塩味の効いた学園であり続けて欲しい。と卒業生と共に願うばかりである。

感謝！

それと遅刻早退はできません。今はやりの〇〇〇〇企業かと思いますが(冗談)。

家に帰ると、二階の窓から愛犬の乱太郎とマリリンが喜んで迎えてくれます。そして、家に入ると家内が迎えてくれます。食事をして、寝る頃に末の息子が帰ってきます。毎日同じことの繰り返しですが、「まさか」が起こって大変なことにもなることもあります。人生は、「登り坂」、「下り坂」、そして一番大変な「まさか」ですね。昔の人は上手に言ったものです。

退職したら、月一ゴルフファアを卒業して、好きな時に毎日でもゴルフをしようと考えていました。現実はその甘いなものでなく、月一も厳しいかもしれません。今年度から自治会長が当番で回ってきてしまい、いろいろと分からない雑用があり過ぎます。これでは、片手シングルの道は険しいです。

戦国時代の武将で山中鹿之助(出雲国尼子氏の家臣)という人に魅力を感じます。彼は亡国の憂き目にあつても逆境をものともせず、「我に七難八苦を与えたまえ」と祈ったそうです。これは、克己忍耐だけでなく、「七転八起」の精神を強調しているのだと思います。できれば七難八苦なんか与えられたくはありませんが、大きな声で挨拶をして、笑顔で過ごせるように毎日心掛けていきたいと思っています。

同窓生だより

桑原 千賀

二十一回生 桑原 千賀
卒業して三十余年。二十一回生は全員五十歳を超えました。

昨夏、二十一回生の同窓会を開催しましたが、同じ学園で過ごした日々を懐かしく思うとともにもうあの頃には戻れないという一抹の寂しさを感じたりもしました。

私には、学園生活で、心に残っている言葉があります。「よいお母様になるために……」ことあることに言われていたように思いますが、私は、その言葉に「結婚するかどうかもわからないのに、ましてや母親になるかどうかなんてわからないのに。」と心の中で反発していました。

もう一つは校長様が一度だけ仰ったことですが、「公立(学校)では、女の子

は大切にされてない。」高校に入学したばかりの私たちにおっしゃいました。入学間もない頃の私にはピンとこなかったのですが、頭の片隅にありました。高校三年間で実感することが多々ありましたが、卒業してからも何度となく感じました。大学卒業後は教員になり公立学校に勤めています。今はずいぶん改善されましたが、女の子が大切にされていないと思うことがありました。女の子が大切にされるということは、人が大切にされることだということに気づき微力ながら頑張りました。いえまだまだ頑張ります。

私たち二十一回生は学園で、共に笑い、共に泣いた私達も今はそれぞれの道を歩んでおります。

介護をしている者、育児をしている者、孫の面倒を見ている者、フルタイムで働く者、

元気である者ばかりではなく、病気を患っている者もいます。

今年度より役員になりました。私フルタイムで働き、高校三年生の息子を持つ母親でもあります。一緒にやる山本さんも保育園に入所できなかつたお孫さんの面倒を見なくてはなりません。この場をお借りして提案させていただきます。ありがとうございます。

昨年度より、同窓会では、名簿の管理を業者に任せるなどの業務の改革をされました。

今後もどんな方でも同窓会役員ができるように私も改革をしていけたらと思っております。特にバザーに関しては改善の余地があると思っております。

私たちの意見に賛否あると思います。賛否ご意見を頂けたらと思います。

ホアキナ会の集い

毎月第4木曜日の14:00~15:30迄、修道院にてホアキナ会の集いがあります。

どなたでも、いつでもお越しください。お待ちしております。

今年は5月23日に聖女ホアキナの祝日のお祝いを行いました。

梶田先生のハープや歌の演奏もあり、素敵な1日になりました。



修道院のお庭



活躍されている同窓生の紹介コーナー



二十三回生 近藤多英子

二十三回生の近藤多英子です。国内外での二十年以上の仕事経験と、十年間東京支店の外資系会社、人事部に勤めた経験を活かし、キャリアコーチングの会社を設立致しました。Skypeなどを利用することでリモートから英語面接の練習や英語の履歴書のアドバイスを致します。卒業生・ご家族への価格は二〇一七年十二月末まで通常価格の二割引でご提供いたします。サービスの詳細についてはまずはご連絡ください。

合同会社近藤ラーニングコンサルティング&コーチング
代表 近藤多英子
info@kondolcc.com

二十一回生 田中美木子

(旧姓 松岡)

同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか?

時の移ろいは早いもので卒業してから三十二年が過ぎました。

私は現在、同窓会名簿の作成や同窓会活動をトータルプロデュースする『榎サラト』に勤務しております。

平成十七年から十年間学年幹事を仰せつかり、会報送付やバザーのお手伝いをさせて頂きました。

当時、会報送付は役員、学年幹事の方々が、宛名ラベルの作成(私が幹事になった当初はあて名書きしていたように記憶しております)、会報の折り込み、封入、封緘、切手貼りとすべて手作業で行われておりました。

卒業後はごく親しかった同級生とたまに連絡を取り合っていただけの私にとって愛徳学園の卒業生と言うことを思い起こしてくれる有意義な時間でしたが、仕事や子育てで当日来校できない方も多く、卒業生の人数も増えて、年々大変になると言うお話を伺い、勤務先の『榎サラト』の業務についてお話しいたしました。

私の幹事の任期中に同窓会創立五十周年を迎え、記念品を検討されておられ、ちょうど私共の会社ではタカラトミーと提携して周年行事の記念品に『制服オリジナルリカちゃん』を推進していただきましたので併せてご提案させていただきました。

現在は、会報送付の代行、ホームページの作成等をさせて頂いていますが、当初はこのアナログ感が良い意味で「愛徳らしい」と思っておりましたし、旧友、先輩、後輩、にお会いするのを楽しみに学園へ出向いております。

たので、そこに効率や機械化を提案することに何か寂しさや抵抗を持ち、学年幹事を仰せつかったから提案するのに長い時間が経過してしまいました。

みなさんは、卒業してから自分と母校を繋ぐものは何かと考えるようなことはそう多くはないと思います。それでも何かの折に、かつての学園生活が蘇ることがあると思います。

例えばこの会報を手にとった時、懐かしい制服を目にした時、学年の同窓会、クラブのOB会、仲間が集まりプチ同窓会、遠ざかっていた母校が再び身近に感じられることと思えます。母校を思う時、その根底には母校への愛着と誇り、感謝があり、その熱い思いが母校への支援につながるのだと思います。私は、仕事で多くの同窓会の活動を見てそう感じております。

この度は、母校の同窓会のお手伝いをする事が出来ましたことを本当に嬉しく、感謝いたしております。



聖書の言葉

神のなされることは、すべて時になつて美しい

庄田作先生を偲んで



十八回生 西河智佐子

十八日の午後のことでした。「庄田作先生が逝去されました」と。驚くと共に最後の別れをしたという一心で翌日、垂水カトリック教会での葬儀ミサに参列させて頂きました。朝から快晴。二月というのに暖かくとも穏やかな日でした。その日は奇しくも先生の八十六回目のお誕生日でもありました。広い教会にはたくさんの方々が参列され、教会内に響きわたる聖歌は今にも庄田先生の歌声が聴こえてくるようでした。

中の入り口にはこれまでの写真がたくさん飾られ、ふと目を引いたのはお年を召された先生のお姿でした。それらを拝見してつくづく年月が経ったことを改めて感じたのです。

私が先生に師事していたのは高校の三年間。もう三十五年も前のことです。音楽の道に進みたいと思っていた私に担任の先生から音楽の先生を通して庄田先生をご紹介いただいたのでした。当時、週に一度全校生徒の歌唱指導で学園にも来て下さっていましたのでその度、緊張していたことを思い出します。全校生徒が集まる静かな講堂に「コッッ! コッッ!」と鳴り響く先生の靴音が聞こえてくると自然にピシッと全校生の背筋が伸びていましたね!そして凄く大

きなオーラをみんなが感じていたと思います。

歌唱指導もさることながら個人レッスンはそれはそれは厳しいものでした。(先生に師事されていた卒業生の方々は共感して頂けると思います。:) いつもドキドキしながらご自宅のドアを開け、神経はピリピリ。思うようにできない時には大声で叱られるので挫けそうになることもありました。自分に負けてはダメだと奮起して頑張ることができたのです。同時に心も強くして頂きました。そして私自身が指導者になった時、本当の意味で『厳しさ』は師の大きな『愛』だったとわかったのです。レッスンでは厳しい反面、普段の優しい笑顔がとても印象に残っています。そのご指導があればこそ今の私があると思うのです。

音大を卒業してからは演奏活動をしながらずっとピアノ講師を続けております。当時まだ五、六才だった子供達は今ではピアノの指導者になり、またたくさんの方に音楽の楽しさを伝えていっています。

師から教わったこと、音楽の精神というものをこれからもしっかりと伝えて参ります。それが亡き師への恩返しと思つて...

最後に 庄田作先生という偉大な先生に出会え、ご指導を受けられたことに感謝すると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



古代アンデス文明への誘い



二十回生 大島 ゆか

皆さんは古文明というかと、まず学校で習ったエジプト、メソポタミア、インダス、黄河、ギリシア、ローマといったところを思い出されることでしょうか。では、古代アンデス文明はいかがでしょう。天竺都市で名高いマチュピチュや地上絵のナスカならご存知の方が多いと思います。そのアンデスの地域で発掘された数々の色鮮やかで

田淵先生の詩集について

四十三年間お勤めになった田淵先生がこの度退職されました。卒業生にとっては思い出深い『まつごころのうた』の歌集を同窓会室におかせて頂けないかとお願いしたところ、心よくご了承頂き、今までの歌集をご寄付頂きました。同窓会



室にお越しの折にはどうぞご自由にお読みください。

サラトさん名簿管理についての説明

名簿管理についてご説明致します。現在の同窓会の会員数は新加入された五十三回生の四十五人に加えて三五九三九人の組織になっております。毎年増え続ける名簿の管理は四人の役員が中心になってここ数年進めて参りましたが、引越や結婚、またはお亡くなりになられたり連絡が取れない方も増えてきて、お名前や住所変更のデータ管理を確実にかつ安全に行うのは大変な作業になり、役員の大変な負担になっておりました。そこで今年度からは、会報発

送作業を委託しております株式会社サラトさんに、名簿管理の業務委託をお願いすることに致しました。

サラトさんについて説明致します。姫路市に本社を構え今年創業四十五周年を迎える会社です。取引している学校は北は北海道から南は沖縄まで全国津々浦々約一七〇〇校と取引されており、大変信用の高い会社でありますのでお任せすることにしました。また取得の難しい情報取り扱いはマークも取得されている会社です。

7
回生



なつかしの写真コーナー



1984年 中・高等学校職員▲



昭和59年度 愛徳学園高等学校同窓会総会 (1984.8.12) ▲



七回生クラス会

平成二十八年二月十二日、Sr.中尾、Sr.堀井、Sr.三好をお招きして同窓会室で集まりました。

二十回生クラス会

平成二十八年六月四日に二十回生の希望者で、ゆるいお茶会が同窓会室で催されました。シスター堀井、鮫島先生をお招きして、お菓子を食べながら、楽しくおしゃべりをしました。



二十一回生クラス会

平成二十八年八月十一日『山の日』に、私たち二十一回生数名は、学び舎から毎日眺めていた淡路島の見える舞子に降り立ち、学生時代にはなかった明石海峡大橋の見えるシーサイドホテル舞子ピラ神戸で同窓会を開催いたしました。

お盆前ということもあり、参加者が十三名と少ない人数でしたが、恩師の目加田先生・田淵先生も参加して下さい、久しぶりの再会で大変賑やかな同窓会となりました。近況報告では、今回出席で



きなかった仲間を含め、日本を離れ頑張っている人、親の介護をされている人、お孫さんや子供たちに囲まれ悪戦苦闘している人、それぞれの舞台でみんな支えあって過ごされていきました。昔話にも花が咲き、とても楽しいひと時を過ごせました。
また目加田先生からは「今から運動をして足腰を鍛えておかないと、歳をとってから大変ですよ。」と助言いただき、私たちに身にしみるお言葉でした。
田淵先生には、私たち全員の名前を一人ひとり当時の頃のように呼んで下さり、学生時代に戻ったような気がしてみんな感激していました。
先生方におかれましては、いつまでもお元気で、また同窓会等でお目にかかれることを楽しみにしております
愛徳学園で学んだ仲間同士、これからの交流を一層深めていきたいと思えます。

平成28年度バザー会計報告

(円)

	収入	支出	残高
物品売上	358,670		
飲料仕入れ		13,698	
亀井堂仕入れ		55,944	
振込料		0	
材料費		51,340	
会議費その他		39,386	
合計	358,670	160,368	198,302

平成28年度バザー収支使途内容報告

(円)

	収入	支出	残高
バザー収益	198,302		
アメリカ基金		75,000	
学園へ寄付		100,000	
合計	198,302	175,000	23,302

残金 23,302円は同窓会会計に入金いたしました。上記の通り収支報告いたします。



アメリカ基金

アメリカ基金は有志からのご寄付2万5千円を加えて10万とし、ご寄付いたしました。

平成28年11月3日

愛徳学園同窓会 会長 石井トクコ・アイリーニ
会計 服部 直子

バザー

昨年11月3日に行われたバザーは皆様のご協力により楽しく無事に終える事が出来ました。

去年は、「ぺっぴんさん」のコーナーではいねいに仕上げられた手芸品やトートバッグなどがよく売れました。

今年は偶数回生を中心に準備をしたいと思いますが他の回生の方もお家に眠っている新品の不要品などありましたら、ご寄付お願いいたします。

どうぞ多数の皆様が同窓会のお店にお寄り下さいますようお願いしております。

今年度のバザーは平成29年11月3日(金)に行われます。

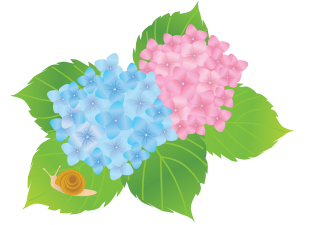


平成29年度 役員・各回生幹事

回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓
1	代表	前澤 萬代	高木	12	代表	喜多 和子	喜多	23	代表	市榮 玲子	駒津	34	代表	米谷 千紗	松井	45	代表	近藤 祐子	
	副	是川 愛子	森		副	松崎 順子	牛田		副	菅野 千絵	寺岡		副	真弓 佳子		46	副	原 綾香	田中
2	代表	橋本 惟子	小西	13	代表	吉村 朋子		24	代表	松崎 裕子	上野	35	代表	森田 恭子	山縣	46	代表	播本 優子	
	副	岡田 幸	松下		副	李 淑玲			副	榊一 美紀	安賀		副	西原 綾子	三平	47	副	松岡 由起	
3	代表	金盛八重子	大西	14	代表	萬井智恵子	川元	25	代表	近藤 京子	服部	36	代表	横山 明里	谷口	47	代表	山本 美穂	
	副	松井富砂子	西田		副	片山 朋子	川上		副	亀井 一美	奥野		副	大場 久子		48	副	中森めぐみ	
4	代表	横山 佳子	川江	15	代表	小林久美子		26	代表	中田 洋子	福光	37	代表	土井絵里奈		48	代表	岩崎 可葉	
	副	小池 悦子	多田		副	内井 章子	磯崎		副	中村加奈子	西永		副	木村美由紀		49	代表	中塚 三莉	
5	代表	井納れい子	大矢	16	代表	加藤 美紀	加藤	27	代表	家永 治恵	菅野	38	代表	濱村 彩香	木村	49	代表	亀山美弥子	
	副	藤田 節子	水野		副	中津 聖子	佐野		副	宮永 美恵	岸本	39	副	今井 梨絵		50	副	河合由起子	
6	代表	前田 英子	椽尾	17	代表	川尻 康子		28	代表	長畑ひとみ	蓬萊	40	代表	星川 恵美		50	代表	川端 千裕	
	副	松下 雅子	西川		副	竹増 良子			副	小野 円	亀井		副	今井 梨絵		51	副	小出穂乃果	
7	代表	北本 雅子	青田	18	代表	西河智佐子	石本	29	代表	齋藤美由紀	藤原	41	代表	西川 可恵		51	代表	石原 静圭	
	副	三宅智津子	白崎		副	喜多久満子	伊奈		副	キーズ亜衣子	伊勢		副	山口 典子		52	副	岩崎 瀬菜	
8	代表	岡本美知子	小山	19	代表	小西 孝子	村上	30	代表	名村 千晃	松井	42	代表	山口美由記		52	代表	浪川茉結香	
	副	北川ひとみ	北川		副	不破 史子	近藤		副	仲東 智子	永山		副	下元絵美子		53	副	徳永 紗椰	
9	代表	石川 恭美	柴田	20	代表	友藤 佳代	藤田	31	代表	伊藤久美子		43	代表	清水利恵子		53	副	新 美聡	
	副	田中 和子	山根		副	小田 佳子	足立		副	豊田 恭子			副	山本ルリ子		53	副	永富 美帆	
10	代表	秋田 京子	秋田	21	代表	三好由佳里	安保	32	代表	上地 園美		44	代表	藤瀬 弥生	福廣	53	代表	村本美奈恵	
	副	大西 周子	浦敷		副	高松美奈子	山田		副	仲川裕美子			副	劉 多記		53	副	丸井 渚	
11	代表	福井 明美	田村	22	幹事	入江 洋子		33	代表	浅見 彩子		45	代表	堀江 祐未		53	副	宮田 妃	
	副	平山千恵子	小路		代表	宰川 雅子	飯室		副	梶村 杏子			副	堀江 祐未		53	副	小西 美精	
					副	吉田 由紀	橘		副	竹内 尚美	有馬		副	瀧倉 綾佳					

平成29年度 役員

役職	回生	氏名	旧姓
会長	7	石井トクコ・アイリーニ	ヤング
副会長	19	宝生 多美	坂口
会計	20	藪口 佳子	大村
書記	20	大島 ゆか	
役員	21	山本 晃美	中尾
	21	桑原 千賀	竹峰
会計監査	18	喜多久満子	伊奈
	19	服部 直子	前田
理事	6	山野真実子	中村



平成30年度 入試案内

小学校

- 5月20日(土) 公開授業・説明会
- 5月24日(水) 公開行事・聖母のつどい
- 7月22日(土) オープンスクール・説明会
- 10月21日(土) 前期入学検査

平成30年

- 1月20日(土) 後期入学検査・編入テスト

※本校を第一志望とする中・高の新入生で、母親が高等学校の卒業生である場合、入学金が半額相当免除となります。

中・高

- 6月4日(日) 説明会
- 8月26日(土) オープンスクール・[Rainbow Program]体験
- 10月14日(土) 説明会(公開授業)
- 11月12日(日) 高校入試説明会①
- 11月19日(日) 中学入試説明会①
- 12月3日(日) 中学入試説明会②
- 12月10日(日) 高校入試説明会②

平成30年

- 1月13日(土) 中学入試 A日程
- 1月16日(火) 中学入試 B日程
- 2月10日(土) 高校入試

学校HP (<http://www.aitokugakuen.ed.jp>)

平成28年度会計報告 自平成28年4月1日～至平成29年3月31日 (円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	16,498,333	通信費	469,076
52回生終身会費及び入会金	1,575,000	印刷費	251,746
体育大会収益金	6,481	慶弔費	24,990
バザー収益金	23,302	会議費	35,672
受け取り利息	1,600	事務消耗品費	10,116
		接待交際費	21,879
		同窓会設備費	120,000
		雑費	3,318
		租税公課	239
		耐震工事寄付金	3,000,000
		次年度繰越金	14,167,680
合計	18,104,716	合計	18,104,716

前年度繰越金内訳 (円)		次年度繰越金内訳 (円)	
種別	金額	種別	金額
現金	7,569	現金	77,129
普通預金	863,083	普通預金	1,500,202
定期預金	5,827,681	定期預金	2,790,349
定額預金	9,800,000	定額預金	9,800,000
合計	16,498,333	合計	14,167,680

上記の通り会計報告をいたします。

愛徳学園同窓会会長 石井トクコ・アイリーニ
会計 服部 直子

愛徳学園同窓会 平成28年度会計報告並びに関係書類を監査した結果、正確かつ適正であることを確認いたしました。

愛徳学園同窓会会計監査 西河内美根子
喜多久満子

平成28年度 53回生合格状況

国公立大

- 神戸学院大 1
- 京都教育大 1
- 神戸常盤大 2
- 兵庫教育大 1
- 神戸山手大 1
- 愛媛大 1
- 姫路大 1
- 大分大 1
- 兵庫大 1
- 神戸市外国語大 1
- 甲南女子大 1

私立大

- 神戸海生女子学院大 3
- 神戸松蔭女子学院大 5
- 上智大 1
- 神戸女学院大 5
- 聖心女子大 1
- 神戸親和女子大 1
- 日本体育大 1
- 武庫川女子大 1
- 帝京科学大 1
- 倉敷芸術科学大 1
- 駒沢女子大 1
- 南山大 1
- 神戸女子短大 1
- 京都女子大 1
- 京都造形芸術大 1
- 神戸山手女子短大 1
- 京都橋大 1
- 夙川学院短大 1
- 京都ノートルダム女子大 1
- 頌栄短大 1
- 大阪産業大 1
- 聖和短大 2
- 梅花女子大 2
- 芦屋大 1
- 関西学院大 4
- 大原情報デザインアート専門 1
- 甲南大 3
- 大阪ダンス&アクターズ専門 1
- 神戸学院大 3
- 大阪総合デザイン専門 1

短大

専門学校

退職された先生方

- (小) 山崎 文 先生
- 福西 ローラ 先生
- (中・高) 小椋 久光 先生
- 袖山 智 先生
- 田淵 八州雄 先生
- 津田 春美 先生

ご冥福をお祈り申し上げます。

莊田 作 先生
Sr.小川 志づか



あ と が き

今年度は多方面にわたって活躍されてる卒業生紹介させていただきましました。他にも紹介したい課題がありましたら、是非ご投稿下さい。



同窓会からのお願い

(1) 住所変更は同窓会のホームページから簡単に入力することができます。

手順① 愛徳学園同窓会 [検索](#)

- ② ホームページ
- ③ メニューのいちばん下に **住所変更** をクリック
- ④ 入力ホームがでてくるのでそこから変更してください。
- ⑤ **送信** をクリックして下さい。

※どうしてもできない方は同窓会あてメール、郵送でも可ですが、対応は後日になります。ご了承下さい。

[宛先] 〒655-0037 神戸市垂水区歌敷山3-6-49

[メール] aitokudousoukai@coast.ocn.ne.jp

- (2) 恩師・同窓生の訃報は各回生の幹事までお願いします。
- (3) 同窓会室のご利用はクラス会あるいは少人数の茶話会としても可能です。メールにて1ヵ月前までにお問い合わせ下さい。